日染爭議も 職工氣勢揚らず 休業明から入場か

職工の整理問題に端を發し遂に臨時休業を行つて居る西區川岸町日本染料株式會社では六日の休業明から作業開始の心組で職工の軟化策に腐心してゐるが職工側も東洋製紙の爭議が敗北に終つたので氣勢揚らず爭議事務所の歡呼に應ずる者日々減少の形勢であるから結局泣き寢入りに休業明から一同入場する事となるらしい

住友職工の演說會 昨夜天王寺公會堂で

日本勞働總同盟機械工、伸銅、電線の三組合後援の下に住友伸銅所、電線所、製鋼所、尼崎伸銅の四工場職工大會は四日午後六時から天王寺公會堂に於て開催された演說會とは異つて職工自身の直接生活に關係する大問題を解決する會であるから定刻より續々と押懸け大阪聯合の急進派連が痛烈悲壯な勞働者の演說を述べ終つた頃は滿堂は組合職工によつて埋められ不穩の色さへ見えた、製鋼所の松山幸太郎氏司會者となり滿場一致を以て伸銅所の西村徳太郎氏を推して大會に移りまづ四工場協議會の經過を報告することになり伸銅所を代表して辭職委員刈屋秀雄氏起ちて住友工場協議會の發表せられた當時に於ける今迄世間に發表されない眞相を語り小幡伸銅所長と賀川豐彦氏との交渉から住友工場協議制がその成立當時から如何に胡麻化しであつたかを述べ我々は住友六千人の職工を欺かるこの協議制を承認せずと報告し電線所を代表して山本氏尼ケ崎工場を代表し三谷繁太郎氏製鋼所を代表して大道貞太郎氏等各々各所屬工場に於ける協議制の末路に至るまでの報告をなして今住友四工場に於ては會社側は工場協議會の効果を宣傳しつゝあるが我々は眞にその効力を經驗によつて正觀し七日の委員選擧に對せねばならぬと論じた次に委員が辭任に至る迄の顚末を報告した後關係組合の態度を一般に聲明する爲め電線工組合を代表し組合長東忠縮氏等演壇に立ち最後に電線工の堀池幸司氏は壇上に現れ決議文を朗讀するや滿場一致これを可決して勞働歌を合唱して散會したのは十一時であつた

我等職工大會は會社の誠意なきを認むること能はず故に來る七日の工場協議會委員の選擧權を拋棄すると同時に爾今協議會を認めざることを決議す

大正十一年一月四日

住友四工場職工大會

三菱の內密の首切り 半年分の退職手當で 社員五百名の運命

財界の大變動で四苦八苦の中に此程迄ばかりは別天地と誇つた三菱もさすが續く不況のため此程來臨時幹部委員會を開き

秘密裡に協議を重ねた

結果合資、商事、鑛業、造船、製鐵、北洋漁業等三菱經營の諸會社から約五百名の社員を馘首すると內定したと云ふ、現に過日來から商事、北洋漁業などには引導を渡されたものが多數あり會社では外間に漏れるを虞て

社報にも出さず、

二三人づゝを眼立たぬやうに呼んで退職手當半年分を條件に辭職を勸め尚最近迄東京に置いてあつた北洋漁業の出張所も廢止して事業を緊縮したこれが爲め多數の社員等は戰々兢々事務も碌々手に着かないとのことである

日本染料引續き一週間の休業掲示 職工喊聲を揚げ喧噪 總同盟からも應援 社長は上京

六日で休業明けとなつた日本染料株式會社職工四百卅一名は午前七時會社へ出勤したが依然怠業を續けてゐたが會社側は更に六日午前十一時より十三日午前七時まで休業と決し其旨を各部工場に掲示したこの發表を見た職工は工場入口內に集合してゐたが正午を期して一同退場する事に決し正午ボツ/\と退場した而して職工の中の一部は會社裏廣場に集合をなし會社を非難し喊聲を揚げ勞働歌を高唱し喧噪を極めた之に先だち午前十一時國粹會川口組川口長太郎なる者が職工側の依頼に依り爭議調停をなしたいと中谷社長に面會を申込んだ所社長は未だ其時機に非ずとの意味を答へ態良く之を拒絶したが今夕七時中谷社長は上京七日に開催される重役會議に參列し爭議經過を農商務省に陳情するさうである因に勞働總同盟よりは多數の幹部驅附け罷業幹部と協議してゐる。

出勤職工の怠業から 日本染料は 引續き休業

大阪西區川岸町日本染料會社の爭議は臨時休業明けの六日朝出勤した職工四百三十一名が又もや怠業を始めたので午前十一時に至り會社側は更に十三日まで休業する旨を發表し職工側は喊聲を揚げて退出した、一方中谷社長は爭議の經過を重役會に報告し併せて農商務省に陳情の爲め同日東上した

本所コルク工 同盟罷工 要求を拒絶され 約書を作て對抗

本所區[illegible]コルク加工所の男職工は雇主の支拂ふ勞銀が餘りに低廉なのと此程來職長某を總代として賃銀引上げの事を數回交渉して居たが、頑として雇主が容れないので昨四日午前十一時半一同約書を作り無期同盟休業を宣言して目下紛糾中である

罷工團の暗流 會社側での再要求謝絕に

東洋製紙の罷業問題更に紛糾す

一日會社側よりの回答に罷工團の再度要求を謝絕するとあつた爲罷工團では之が對抗策を講ずるので午後五時から靱塚新教所設置の罷工團本部に引上げ勞働總同盟の西尾主事及び幹部等頻に密議を凝してゐるが飽迄もその意志貫徹すべき氣配を呈してゐる一方中津署に拘束された金正、藤森兩名は一時同署を放還されると同時に網島署の待ち設けた手に再び檢束され藤沼警察部長網島署長は中津署樓上で何事か之又協議中である

日本染料又休業 出勤した職工の怠業繼續で

爭議中の日本染料株式會社にては一週間の臨時休業も終つたので職工四百三十一名は六日早朝より出勤したが依然怠業を續け密議などに耽り不穩の行動あるを慮かり會社は午前十一時又一週間の休業を命じたので職工は已むなく門前なる爭議本部に引揚げ對應策を講じてゐる一方中谷同社長は七日午前七時半發列車にて急遽東上したがそれは七日東京市に於て開催さるゝ同社の重役會議に列席し爭議の經過報告并に今後の對應策を協議の上此の旨を農商務大臣に陳述する爲であると(大阪電話)